

第3回推進協議会、第4回推進有識者会の議事概要

資料1

議事	分類	意見等	対応の方向性		
第3回協議会 (3/29)	計画の構成について	交通政策基本計画の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・理念の「ライフステージに寄り添うモビリティシティ おおた」と目標がどのように繋がるのか。また、将来像との関係が良くわからない。 ・目標を3つに分類しているが、目標のイメージが掴めない。 ・施策と同じようなものが出てきているので、少し分かりにくいかもしれない。 ・区民の方々に分かりやすい、共感しやすい建付けが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、「交通政策基本計画の基本的な考え方」を修正した。 ・区民向けの公表用資料を、別に検討・作成する。 	
		計画の内容について	計画の理念	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の暮らしや訪れる人に対して、モビリティとして支えるのは必要。しかし、そこだけが出てしまうのどうか。 ・国際都市、世界都市である東京の羽田という玄関口にあつて、この大都市が成長を一定程度続けていくことが必要で、それを担っていく重要な役割を大田区が持っている、という部分が必要。 ・キャッチフレーズで、カタカナが好きか嫌いかというのには、個人差がある。 ・「寄り添う」よりも、もう少し強い言葉がないか。「いろいろなものをサポートする」というような、よりよい言葉がないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の意見を踏まえ、修正案を作成した。
			交通の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・広域交通の将来像のイメージ図について、区が中心になっているので、もう少し広域を示した表現の方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の意見を踏まえ、広域的な図に修正した。
	第5章 施策	交通手段ごとの将来の方向性	交通手段が連携した取り組みについて、記述が必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・構成を「1. 基本方針」と修正し、交通手段の連携についても記述を充実した。 	
			施策の種類(区民が関わる施策)について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を整理するにあたり、なるべく施設整備以外の取り組みを増やしていくことを考えたらどうか。 ・区民に向けて、ルール・マナーを守るだけでなく、ほかにお願いすることはあるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備以外の取り組みについても充実するように修正した。 ・区民にお願いしたいことについても記述を追加した。
		水辺空間について	水辺空間について	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区にとって水辺はとても大事な空間なので、水辺について全体を俯瞰して検討が必要。 ・防災、観光、地域の活性化、さらにプラスアルファということで、非常に広い切り口でしっかり捉えなくてはならない課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺空間について記述を充実した。
			新しいモビリティについて	<ul style="list-style-type: none"> ・政府がこうだからというのではなく、自ら「どういうモビリティが将来必要か」、「そのようなニーズを満たすためには、どのようなモビリティがあったらよいか」ということについて、計画策定時には分からなくても、この計画の中の施策として、検討することを入れることも考えられる。 ・交通システムを地域ごとにローカルで考えていく時代。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の意見を踏まえ、施策について検討した。 ・将来のモビリティの技術動向に関わるものについても、計画の中に施策として整理した。
		臨海部の交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクルのようなものを重層的に入れて、ネットワークを補っていくといった考え方をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通サービスの一つとして、コミュニティサイクルについて施策として整理した。 	
		狭あい道路の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路を整備するときに、昔の趣を残したまちづくりをしてもらいたい。 ・それぞれの地域の個性を活かしていくことは、大変大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記意見を踏まえ、狭あい道路の整備に関する記述について表現を調整した。 	
		踏切について	踏切が課題。第5章の絵にもぜひ表現を入れて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切の対策としては、短期的には安心して渡れる環境づくり、長期的な方向性としては、踏切をなくすということが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区内交通の将来像のイメージ図に、踏切を表現した。 ・左記意見を踏まえ、踏切に関わる記述について表現を調整した。
			自転車交通について	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車交通の「自転車の利用環境をつくる」の記述に、道路に関することを入れたらよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自転車の利用環境の充実」の項目では、道路整備については記述せず、道路の整備については別の項目で整理した。
		バリアフリーについて	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者団体の代表の方々などのご意見をしっかりと聞きながら、バリアフリーを進めて欲しい。 ・大田区にもエスコートゾーンの整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記意見を踏まえ、バリアフリーに関わる記述について表現を調整した。 	
		リーディングプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・リーディングプロジェクトに、分野横断的に取組むことによって効果を発揮するものを入れて欲しい。 ・区民にどう関わってもらいたいのかをどこかに書いて、区民に「もっと良くなる」ことが分かっていたらいいような取り組みをリーディングプロジェクトに入れて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記意見を踏まえ、リーディングプロジェクトについて検討中。 	
		第4回推進有識者会 (7/4)	計画(素案)第4章計画の基本的な考え方	交通の将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・「交通の将来像」の次に「目標」が来るので、誤解を与えるかもしれない。
将来の暮らしのイメージについて	行政向けの計画書なので、ポンチ絵は参考資料として、本文としては表などで対応するとのよいのではないか。			<ul style="list-style-type: none"> ・ポンチ絵は参考に移動し、本文は一覧表に変更した。 	
	目標や手段を定める前に、何か決まってしまう感じがする。			<ul style="list-style-type: none"> ・計画を何もしないと悪化するものについてもイメージ図で示して、皆さんに気づいてもらうという示し方もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政向けの計画書では、マイナスの表現は入れない。(上記の確めの資料に差し替えのため) ・区民向けの公表用資料で、マイナスの表現について追加が可能か、今後検討する。
計画(素案)第5章施策展開	基本方針(施策内容含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・将来の変化についてどのような形で受け止めるか、「基本方針」で多少言及する必要があるのではないか。 ①地域包括ケアの連携がかなり重要なものに関わらず、交通からは一つも手を差し伸べていない印象。 ②福祉有償運送、消防団、商店街、自治会が運行してもよいという流れが出てきている。このような新たな流れに関する記述がない。 ③道路交通法も新たな時代に対応しなくてはならない。例えば電気自転車や自動運転「フェーズ4」への対応など、捉えきれない印象がある。 ④観光面から見ると、羽田空港の訪問客をどうやって受け止めるかについて、交通の切り口から具体的に記述が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本方針」に、左記の内容を追加した。 	
	スケジュールの書き方		<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール表にただ矢印がのびているだけで、途中まで何をやるのか、具体的に何がどこまでできるのか、はっきりしていない。 ・施策の中で実績のあるものや実績をあげられるものは、もっと書き込んだ方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な範囲で、スケジュールに情報を追加することを検討する。 	
	リーディングプロジェクトについて		<ul style="list-style-type: none"> ・リーディングプロジェクトの選定方法については、区の課題からプロジェクトにつながる、区民にもわかりやすいストーリーを示した方がよい。 ・リーディングプロジェクトを決めるにあたり目標である「暮らし」、「都市の活力」、「環境」がそれぞれ改善していくものがあるとうい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の意見を踏まえ、リーディングプロジェクトを選定していく。 	
	モニタリングについて		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングについては、もう少し検討が必要。 ・モニタリング指標については、KGIのほか、KPIも示せるとよいのではないか。 ・大田区の施策の弱みに着目して、そこに着目した指標の設定も考えられる。 ・実現していくのであれば、施策の段階でももう少し具体的に記述があってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の意見を踏まえ、モニタリングについて修正した。 	
計画(素案)第6章本計画の推進に向けて	担い手について		<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の記述の部分で、区民に対してお願いしたいことを示したらどうか。 ・役割分担は、モニタリングの前に書かれてもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に対してお願いしたいことを追加した。 ・役割分担を、モニタリングの前に移動した。 	
	目標値について		<ul style="list-style-type: none"> ・例えば「交通安全で事故件数10%削減します」という目標に対して、「啓蒙の回数何回します」という指標をあえて設定して、市民の関わりを示すことが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値についても、今後検討する。 	
	意見の聴取について		<ul style="list-style-type: none"> ・第2回区民アンケート計画案について ・区民の交通に関わる取り組みへの関わり(意識や実績など)について聞いてもよいのではないか。 ・リーディングプロジェクトについてどう扱うか。(リーディングプロジェクトの案を示さない場合は、決めるための設問を入れることも考えられる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容を踏まえ、アンケート計画案について検討した。 	
説明会について	説明会について		<ul style="list-style-type: none"> ・例えば30人～40人集めて、この計画案について説明し、その後、意見を1～2時間伺うという方法も考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民説明会については、今後検討する。 	

※KGI(Key Goal Indicator)とは、最終目標が達成されているかを計測するための指標のことで、重要目標達成指標とも呼ばれる。
KPI(Key Performance Indicator)とは、最終的な目的を達成するための過程を計測するための中間指標のことで、重要業績評価指標と呼ばれる。